

慈尊院(九度山)と青洲の里(紀の川)

絵と文・熱田親憲

題字・熱田秦華

熊野古道

ふたつとくま記

37

大河ドラマ「真田丸」繁(幸村)雌伏の地、でにぎわっている九度 高野山への町石道の起 点を訪ねた。真田信 点という二つのビュー 点。また女人高野の寺

ポイントがある。まず 真田庵や抜け穴を散策 したあと、紀の川支流 の丹生川を渡って慈尊 院を訪ねた。

でもあり、女性の信者 が多い。それは母思い の空海がここに住む母 を月に9度訪ねたこと と、母が本尊の弥勒菩 薩を深く信仰されてい たことが背景にあるよ うだ。

特に目に留まったの が乳房形であった。板 に布で作った乳房が貼 り付けられた絵馬が奉 納されていた。安産祈 願、乳がん予防・平癒 などをお願いする文字が記さ

に立ち向かった町医者 奥義を極めたい」との 言葉に接し、町医者に 徹した生き方に感動さ せられた。

先生は医療だけでな く、農村のかんがい用 ため池事業にも携われ た。江戸へ出ずに地元 にとどまり、私利私欲 を捨て、農民のために 尽くす姿は、紀州人の 誇りとして、現代も尊 敬されている。彼のよ うな偉人の登場で村や 町が発展し、国全体が

れ、幾重にも重なって 下げられていた。昔か ら女性にとって乳房は 子育てのための大切な 身体の一部であった。 育児中家内も乳腺炎で 苦しんだことがある。 今でも乳がんが悩まさ れている女性を多く知 る。医学が発達してい なかった昔は、神にす がって祈るしかなかったの だろう。

町医者徹した生き方に感動

満ちていた。ここが有 吉佐和子の代表作 「華岡青洲の妻」の 舞台かと、やや緊張 した思いでアーチをく ぐる。青洲先生の銅 像がここにやかに迎えて くれた。

先生は75年の生涯の 力を付けたのだろう。 中で、1804年10月 13日に世界初の全身麻 酔による乳がん摘出手 術成功という快挙を成 し遂げた。その陰には、 マンダラゲの薬草を主 成分とする麻酔薬「通 仙散」を開発するため、 動物実験、妻と母への 人体実験を重ねた。そ の経緯は、小説のドラ マ化でご存知の方も多 いかと思う。成功の暁



「青洲の里」の春林軒内庭(紀の川市西野山)にて

乳がんの悩み、不安 病人が回生する医療の いかと思う。成功の暁 つ春霞 秦華